

マグロ類における緊急赤潮情報2

令和8年7月6日
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

津久見湾でシャットネラ類(有害プラクトリ)が注意密度を超えています。魚介類の管理に十分注意して下さい。

発生場所 津久見湾
プランクトン種類 シャットネラ類
赤崎 9 細胞/ml (表層)

発生期間 令和8年7月6日～

(シャットネラ類赤潮の注意点)

- ・マグロの場合 警戒密度：10 cells/ml 注意密度：1 cells/ml
- ・シャットネラ類は魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ・海面が着色する前の低密度（100 細胞/ml）で斃死されます。
- ・パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖、畜養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。
- ・陸上養殖では夜間に、中層で赤潮を引き込む危険があります。

赤潮発生場所での対応

- ・投餌は控える。
- ・赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・赤潮海域から魚介類を避難する。
- ・蓄養は控える。

